

【天国への手紙】

【2023年5月13日放送分】

ひさちゃんへ

ラジオネーム：えり

ひさちゃんが癌で亡くなって、もうすぐ5年ですね。

折にふれ、心にぽっかり穴が開いたことを感じる月日です。

ひさちゃんは、お父さんが事業をやっていて、いわゆるお嬢様だと思うんだけど、小さい頃からそれをひけらかしたりせず、誰に対しても公平で、割と穏やかで、自然体でいるのに品があって、それが格好良く、憧れている人が多かったのよね。

ひさちゃんとは小学校から高校まで、同級生だったり、隣のクラスだったりして、長い間仲良くしてくれて、本当にありがとう。

小学校の時、友達数名でひさちゃんのお家に行ったことがあって、古いけどお掃除の行き届いた立派なお家に圧倒されたことを思い出します。ひさちゃんが得意だったピアノはピカピカで、お母さんは綺麗で物静かな人だったような。

子どもの頃は単純に羨ましいと思っていたけど、大人になった今ならわかる、ひさちゃんは折り目正しく、厳しく育てられたのだろうなあ。

ひさちゃんは大学から地元を離れ、それからやり取りが途

絶えてしまったけど、ある時、クラスの友達がひさちゃんのブログがあると教えてくれて、そこでひさちゃんの病気のことをみんなが知ったの。

ひさちゃんのブログは、生きることへの穏やかで強いまなざしにあふれ、さまざまな物事に対する心の持ちようや、病氣と向き合うとは、生きるとは、など、自らへの問いかけを通して多くの人に考えることを促す内容で、病氣を抱えながらも発信し続ける姿に芯の強さを感じつつ、読んでいる私も姿勢を正して生きなきゃと思ったものです。

多くの同級生が同じ思いで見守っている中、訃報が届いた時はとても悲しかった。生きているうちに同級生のライティングループに入ってほしいとみんな思ってた。でもそれは叶わなかった。それもひさちゃんの生き方だったんだと思う。

ひさちゃん、どうか安らかに。向こうでまたいい話、教えてね。

＜ R P P G / S E K A I - N O N O W A R I - ＞